



言葉を通して世界の平和を

これぞ本学図書館の 主題別書誌データベース①

藤田眞壽美

明治日本の国際派女性たち

主題別書誌データベース

- ① 「女性の社会進出」にリンク
- ② 「明治の国際人とその書物」にリンク



鹿鳴館の日本人女性たち

明治150年記念を目前にした2017年に、このデータベースが作成されました。

日本が明治時代を迎えると、国際化が進展し、女性の社会への進出がみられるようになりました。

たとえば、皇女教育のため欧米の教育を視察し帰国後、実践女子大学を創立した「下田歌子」や、日本初の女性留学生として渡米し看護学と女子教育を学び、津田塾大学を設立に協力して赤十字看護理事を務めた「大山捨松」。小泉八雲と国際結婚し、彼の創作を支えた「小泉節子」。音楽留学後、音楽理論を修め、家庭音楽の普及に努めた幸田露伴の妹「幸田延」。アメリカの大学に留学し、アメリカ議会図書館に勤務した「坂西志保」。イギリスに留学し、教育学や教育史、心理学を修め、お茶の水女子大学教授となった「安井てつ」などが含まれています。

現在の国際化された社会で生活する現代の私たちにとって、明治の国際派女性についての知識は、女性の国際社会の進出を知るうえで大変重要なことと思われまます。

このデータベースを参考にして、彼女たちに関係した書物を知って頂き、あなたの「世界」を広げてみませんか。

ふじた ますみ (司書・管理運営課主事)